

9月議会 TOPIX

■市長の多選自粛条例、否決される

先の市長選挙においては、前市長の20年にわたる長期政権が一つの争点となりました。多選の弊害を訴えた清水市長は、就任直後の6月議会に、自らの任期は3期を越えないとする条例案を提出していましたが、新市長に対抗する会派の反対で継続審査となり、9月議会の冒頭で否決されてしまいました。市民の皆さんからご期待の声をいただいていた条例であっただけに、大変残念な結果です。

■真相究明と再発防止に、議会で徹底調査 ～市立病院不正請求事件・盆栽枯死事件～

新聞でも報道された市立病院不正請求事件（注参照）と盆栽枯死事件については、真相究明と再発防止に向け、議会の強力なチェックが必要ということになり、市に強制力を持って資料提供をさせる特別な調査を行うことになりました。12月議会で、成果が公表される予定です。

（注：この問題では、昨年度の病院会計の決算議案が、再発防止を求める議会の判断で「不認定」となりました。）

■オープン議会、開催 ～開かれた議会、前進へ～

去る10月9日、議会基本条例をテーマに「オープン議会」が開かれました。本会議場に応募した市民の皆さんにお座りいただき、現在議会で条例作りを進めている「議会基本条例」について、説明と質疑が行われました。今後は、更に市民の皆さんからわかりやすい議会を目指して、様々な取り組みが必要と考えています。

12月議会は、
11月25日（水）
～12月18日（金）
の期間で、開催されます。

【来年度予算に向け、会派で提案書を提出】

我が民主党・無所属の会では、10月1日、市長に対し、65項目にわたる来年度の予算及び政策に対する提案を提出しました。（内容は「民主党・無所属の会 さいたま市議団」ホームページをご参照ください）



《 視 察 メ モ 》 ～札幌、ハッ場など～

12月議会までの閉会中は、様々な勉強会や視察に参加しています。中でも会派で行った札幌・美唄の視察は、9テーマに及び視察で、「情報公開」「創造都市の取り組み」「職員の天下り禁止」「子どもの権利条例」など、市政の今後に大いに役立つものとなりました。

また、本市の水道事業との関係から、ハッ場ダム建設予定地の視察にも行ってきました。本体は未着工でも、関連工事は進められているのですが、壮大というべきか、壮絶というべきか、無謀というべきか…その現場の凄さに圧倒されました。人間というものは、ここまですごい工事ができるのか、という技術力の凄さにも圧倒されますし、ここまで無理を重ねてもやろうとするのか、というエゴにも圧倒されます。また、ダム建設に乗じてできるだけうまい汁を吸おうとする人間の欲得にも圧倒されました。

編集後記

まず、発行が大変遅くなり、申し訳ありません！

6月議会では市長選直後の抵抗の嵐にさいなまれたため、9月議会はどうなることやらと身構えていましたが、そこまでの展開にはならず、少々落ち着いた議会展開となりました。

また9月議会は、直前に国政における政権交代が起こり、国政与党の中で迎える初めての議会ともなりました。民主党政権下では、真の地方分権が一気に進むと思われる。まさに、市に何ができるかで、市民の幸せ度が大きく変わる時代の到来。ますますがんばらなくては！と思う、今日この頃です。

新型インフルエンザが猛威をふるっています。我が家でもついに上の子がかかり、大変でした。皆様も、十分ご留意の上、お過ごしください。
(高木)